

『人生の原点回帰』～ 生涯に影響を与える ～

2026年3月14日 快晴の早朝【壮大な品格のある 雪の積もる『富士山(3776m)』眺め、大いに心が慰められる。筆者は、幼年時代から 誕生の午（うま）年の母の元旦の夢が『富士山』であり、幼児の時から『富士山子』と母に励まされたものである。故に『富士山』には特別な思いがある。幼年時代のインプリンティングは生涯に影響を与えるものである。】これが、『筆者の人生の原点』である！

筆者は、3月7日(誕生日)に、雪の積もる群馬県の万座温泉日進館(標高1800メートル)での【『2026年 メディカル・ヴィレッジ in 嬭恋村 がん哲学外来カフェ in 万座』～『樋野先生お誕生日お祝い会』～】で、講演『縦と横 バランスがとれる』の機会が与えられた。【縦軸は、内村鑑三(1861 - 1930)、横軸は、新渡戸稲造(1862 - 1933)】とさりげなく語った。芸術大学の学生が制作された【馬と一緒に並ぶ絵画】を wife がプレゼントしてくれた(画像)。大いに感動した。涙無くして語れない。

【筆者の夢は、内村鑑三、新渡戸稲造らと『天国でカフェ』を開くことである】と何時も語る。3月22日は、2008年にCAJでスタートした『東久留米がん哲学外来・カフェ』と2007年から始めている『読書会』である。『読書会』は【新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めている。『継続の大切さを痛感する日々である』

新渡戸稲造は、1918年 軽井沢夏期大学を開設している！ 1932年 新渡戸稲造・賀川豊彦氏(1888 - 1960)によって創立された新渡戸記念中野総合病院で、シンポジウム『新渡戸稲造の人生の原点回帰』が企画されると 歴史的大事業となろう！

3月11日 Wife と CAJ(Christian Academy in Japan クリスチャン アカデミー イン ジャパン) Auditorium での、【東日本大震災15年メモリアルコンサート(THE BRIDGE concert) Not Alone 一人じゃない】に出席した。多数の参加者であった。特に『花は咲く』(作詞:岩井俊二 作曲:菅野よう子)と『Believe』(作詞:杉本竜一 作曲:杉本竜一)の合唱が心に沁みだ。3月14日は、『お茶の水 がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC』に赴く。『お茶の水 がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC』は、東日本大震災の2011年に創設準備がなされ、2012年に当時 OCC 副理事長であった榎原寛(1941-2020)先生が始められた。時の流れである。

